

## 軟弱地盤解析(条件追加)

### 【理由】

R2年度の軟弱地盤解析業務委託における検討断面の設定において、検討断面C-C'、D-D'及びE-E'の盛土高(GH=7.5m)では、盛土荷重条件を地表面からGH=7.2mまでは改良フケ土とし、0.3mを覆土(購入土)の組み合わせで検討を行った。

しかし、1次造成後の現況地盤高(GH=6.8~7.1m)からの盛土には、改良フケ土ではなく購入土により施工する方針に変更したため、地表面からGH=7.5mまでを購入土で盛土した場合の条件を追加しR2年度と同じ状況で解析を実施した。

### 【補足】

※地表面とは、平方第二土地区画整理事業による造成(1次造成)前の地盤面。

軟弱地盤解析時(R2年度)の建設予定地は1次造成前であり、盛土を行う基準面は地表面となる。

※検討断面A-A'及びB-B'については、盛土高(GH=7.5m)で、覆土厚を0.7mとして算出しており、1次造成後の状況に近い条件で解析していることから、条件追加による解析は実施していない。

※現時点における建設予定地は、1次造成が完了しており、東海環状自動車道建設工事の建設発生土が使用されている。

覆土:トンネル掘削に発生したズリ土(現況地盤面から0.2~0.3m)

改良フケ土:セメント改良された余剰土(覆土から地表面の間)

解析時において、盛土材として想定されたことから、設計用地盤定数として使用

